

外国語科 学習指導案

〇〇市立〇〇小学校
指導者 〇〇 〇〇

1. 日 時 令和〇年〇月〇日(〇)
2. 学年・組 第5学年〇組(〇名)
3. 単元名 He can run fast. She can do *kendama*. “Here We Go! 5” Unit 4
4. 単元の目標

宿泊行事とともに過ごす同学年の仲間たちにクラスの友だちのことをよく知ってもらうために、クラスの友だちの良さを伝えることができる。【話すこと(発表)】イ

※なお、本単元における「聞くこと」及び「読むこと」、「書くこと」については目標に向けて指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。

5. 教材観

本単元末の活動として、クラスの友だちの良さを同学年の仲間たちに紹介することを設定している。今年度の〇月に宿泊行事を控えており、「お互いの良さを認め合おう」を目標として準備をすすめているところである。2日間の宿泊行事では、クラスを越えたグループの仲間とともにカッターボートを漕いだり、料理をしたり、出し物をしたりする活動を予定している。同じクラスの友だちのことはよく知っているが、他のクラスの子とは、これまでにあまり関わる機会がなかったという子どもも多い。本単元の活動をきっかけとして、同学年の仲間たちのことを知り、多様な他者との相互理解が深まることを期待している。

友だちの良さを伝える際には、新出表現である He/ She can~. を使ったり、既習表現の I like~, too. を使ったりする。また、人の性格を表す語句は Unit 5 で扱うが、He/ She is nice. や He/ She is active. など、これまでに扱っている語句は、既習として扱うようにする。

6. 児童観 ※略

7. 指導観

本単元でコミュニケーションを図る相手は、他クラスの子どもたちである。第5時に、同学年の仲間たちに、クラスの友だちのことをよく知ってもらうためには、どのような伝え方がふさわしいのか、めざす姿を子どもたち自身が考える時間を設定する。そして、子どもたちの意見からルーブリックを作成し、第6時にはルーブリックをもとに子どもたちどうしてより良いパフォーマンスにするためのアドバイスをすることで、自己調整できるようにする。しかし、互いのパフォーマンスにどのようにアドバイスすればよいのか難しく感じている子どもも見られる。そこで、常にめあてとルーブリックを意識させることに加え、数名のパフォーマンスを取り上げ、みんなでアドバイスを考えるようにする。その後、改善されたパフォーマンスを取り上げ、友だちからのアドバイスをもとに変容した姿を示すことで、協働的な学びの良さを子どもたちが実感できるようにしたい。

8. 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 〔発表〕	<p>〈知識〉 I/ He /She can～. Can you～? など、自分や相手、第三者ができることやできないことを表す表現やその尋ね方、答え方について理解している。</p> <p>〈技能〉 I/ He /She can～. Can you～? など、自分や相手、第三者ができることやできないことを表す表現などを用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。</p>	<p>自分や第三者のことをよく知ってもらうために、紹介する人の良さについて自分の考えや気持ちなどを含めて話している。</p>	<p>自分や第三者のことをよく知ってもらうために、紹介する人の良さについて自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。</p>

9. 単元の指導と評価の計画(全7時間 本時6/7)

時	主な学習内容	評 価			
		知 技	思 判 表	態 度	評価規準(評価方法)
1	単元末の活動の見直しをもち、本単元のトピックや語彙に触れる。				記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教員が児童の学習状況を確認する。
2	できることを尋ねる言い方を知る。				
3	クラスの友だちにできることやできないことを尋ねる。				
4	第三者(クラスの友だちや先生)ができることやできないことを伝える言い方を知る。				
5	宿泊行事に向けて、同学年の仲間たちに、クラスの友だちの良さを伝える表現を考える。めざす姿を話し合い、ルーブリックを考える。	発			He / She can / can't ...などの表現や関連語句を理解している。【知・技】 (行動観察)
6 本 時	クラスのグループの友だちにアドバイスをもらい、友だちのことをより知りたくなるような紹介にブラッシュアップする。		発	発	ルーブリックにもとづいて、友だちの良さを伝える表現にしている。【思・判・表】 ルーブリックにもとづいて、自分のパフォーマンスを調整しようとしている。【態度】 (行動観察、提出動画)
7	宿泊行事でともに過ごす同学年の仲間たちにクラスの友だちのことをよく知ってもらうために、クラスの友だちの良さを伝える。		発	発	同学年の仲間たちに友だちの良さを伝えようとしている。【思・判・表】【態度】 (行動観察)

10. 本時の展開

過程	学習内容・学習活動	指導上の留意点 等
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめの挨拶をする。 ・本時のめあてを確認する。 	
	アドバイスをもとに、友だちのことをより知りたくなるように紹介しよう。	
展開1 (20分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ループリック(下記参照)を確かめる。 ・4人グループを組み、パフォーマンスを聞き合う。 ・ループリックをもとにアドバイスする。 ・数名が全体で発表し、より良いパフォーマンスにするためのアドバイスを考える。 	【想定されるパフォーマンス 例】 This is my friend, Shoichiro. Please call him, Sho. He is active. He can play soccer well. He can dance well. 数名の発表に対するアドバイスを全体で考えることで、自己調整の方法を考えやすいようにする。 【想定されるアドバイス 例】 ・興味をもってもらえるように、聞き手に質問してはどうか。 ・自分の考えも入れたら、友だちの良さが伝わると思う。
展開2 (12分)	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイスをもとに、自己調整をする。 ・数名が発表し、良かったところを伝える。発表者は、改善したことを伝える。 	【想定されるパフォーマンス 例】 ※ <u>下線</u> は、アドバイスを受けて加えたところ This is my friend, Shoichiro. Please call him, Sho. He is active. <u>Do you like soccer?</u> He can play soccer well. He can dance well. <u>I like dance, too.</u> 【改善したこと 例】 ・興味をもってもらえるように、聞き手に尋ねた。 ・自分もダンスが好きなので、自分のことも伝えた。
まとめ (8分)	<ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンスを動画に撮って提出する。 ・アドバイスをもとに改善したところを振り返りシートに書く。 ・終わりの挨拶 	・録画したものを見直し、調整して撮り直すように促すことで、めあてに向かって自己調整できるようにする。

【ループリック(思考・判断・表現)】

a (十分満足できる状況)	b (概ね満足できる状況)	c (努力を要する状況)
友だちの良さについて、みんなが驚く情報を伝えるなど、印象に残る紹介ができています。	自分の考えや気持ちを入れて、友だちの良さを伝えることができています。	友だちの良さがあまり伝わらない。

【ループリック(主体的に学習に取り組む態度)】

a (十分満足できる状況)	b (概ね満足できる状況)	c (努力を要する状況)
友だちからのアドバイスと自分での気づきをもとに、友だちの良さがより伝わるパフォーマンスになっている。	友だちのアドバイスを取り入れ、友だちの良さがより伝わるパフォーマンスになっている。	パフォーマンスの改善が進んでいない。